

民生福祉常任委員会視察報告

参加委員：吉永美子委員長、 山田伸幸副委員長、 大井淳一郎委員、
杉本保喜委員、 恒松恵子委員、 松尾数則委員、 矢田松夫委員

視察日：平成30年11月8日

視察先：大分県大分市議会【議員定数=44人 市の人口=約48万人】

視察内容：議員提案による「子ども条例」制定の経緯、条例制定後の議会の取組み
及び条例制定による効果

報告事項：

1 子ども条例制定の経緯

- ・大分市議会議員政策研究会において政策課題を募集、選定し、平成21年、調査研究チームである推進チームを立ち上げ
- ・全議員による全体会議を7回開催
- ・正副議長及び各会派の団長による役員会議を14回開催
- ・推進チームの会議を37回開催
- ・市民意見交換会を2回開催
- ・各会派での検討3回
- ・先進地視察2回（目黒区、秋田市）
- ・子どもに関する関係者15団体及び「大分市次世代育成支援行動計画推進協議会」との意見交換会をそれぞれ1回ずつ開催
- ・子どもへのアンケート調査（小中高25校813人）を実施
- ・子どもとの意見交換会（小中高3校34人）を実施
- ・パブリックコメントを実施し、38人より提案
- ・大分市子ども条例を平成23年3月11日可決
施行日=平成23年5月5日

2 子ども条例制定後の取組み

- ・子ども育成・行政改革推進特別委員会を設置
- ・条例解説書の作成
- ・条例説明会・告知ビラ街頭配布の実施
- ・広報パンフレットを検討・作成し、市内小学4年生～中学3年生に配布
- ・子ども育成・行政改革推進特別委員会により、平成24年12月、「子ども育成の施策等に関する提言書」を市に提出

3 子ども条例制定による効果

- ・子どもすこやか部の設置により、子どもの施策に関し組織の一元化が実現

4 考察

議員に政策課題を募集し、選定を行って条例を制定していく流れが確立されている。市の課題を見つけ、市民の福祉向上に貢献していこうとする大分市議会の姿勢を垣間見ることができた思いがする。

本市議会においては、議会基本条例に「把握した市民の多様な意見をもとに政策立案、政策提言等の強化に努めること」とあるように、市に対し政策提言等にもっと努力しなければならない。このことから、本市の基本計画の重点施策「子育て世代から選ばれるまち推進プロジェクト～もっと住みよいまちへ～」の実現に向け、子育てに関し基本となる条例制定の推進や、子育てを支援するための提言を展開すべきと考える。